

(イ) 艦船 | 〇二〇〇〇八〇〇一三〇〇六〇〇
 (ロ) 戦場氣象 | 二三〇〇〇五回

(ハ) 戦果報告 | 概不夜間、晝間、薄暮、
 三回ニ區分シ攻撃アタル都

度

第四通信

九艦船及戦果報告ハ情報隊ノ担任トスルモ爾
 他ノ情報ハ航空、氣象、地上戦況等ノ報告
 各飛行場大隊、氣象部隊等從來ノ如ク之ヲ

担任スルモノトスルニ由リ、
 十情報團通信網並ニ直轄部隊ニ對シテ第三ノ如ク
 六無線通信係ハ特ニ此種場合ノ外常時待受ト

三情報隊及戰果速報團ニ對シテ軍防衛情報
 一號並ニ試部隊特攻戦果速報略號表ニ

其臺灣軍防衛情報略號一號並該部隊特攻戰果
速報略號表一號，取扱八情報隊於其他
八所在地區部隊，担任ト又

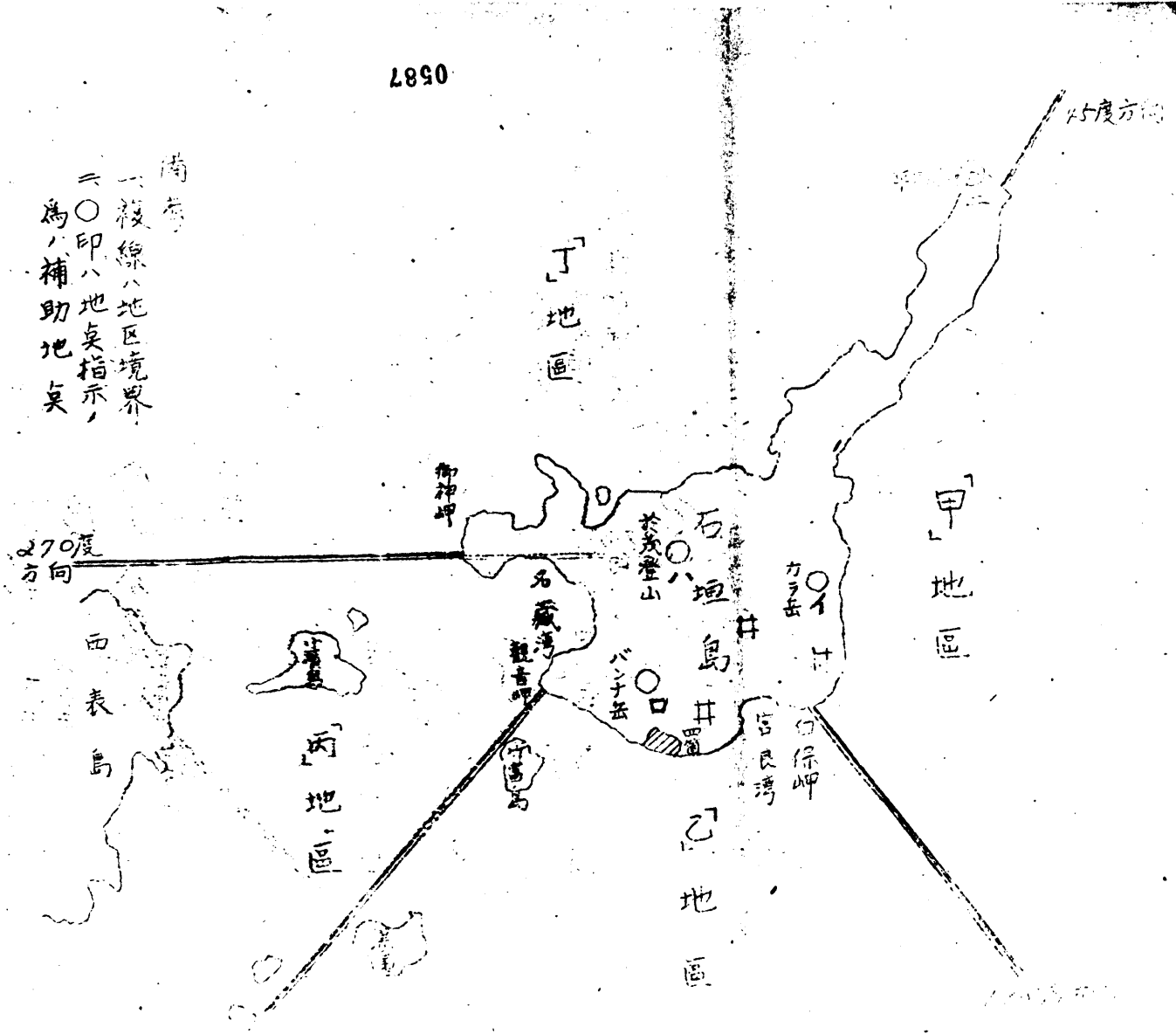
別紙第一

報告、為、地域區分(石垣島)

方向

別紙第一

報告、為、地域區分(石垣島)



尚考
 一、線、地區境界
 二、○印、地、指示、
 為、補助地、矣

別紙第二

報告ノ為ノ地域区分(宮古島)

8890

備考

一 複線ハ地区境界
二 ○印ハ地真指示ノタメノ補助基莫

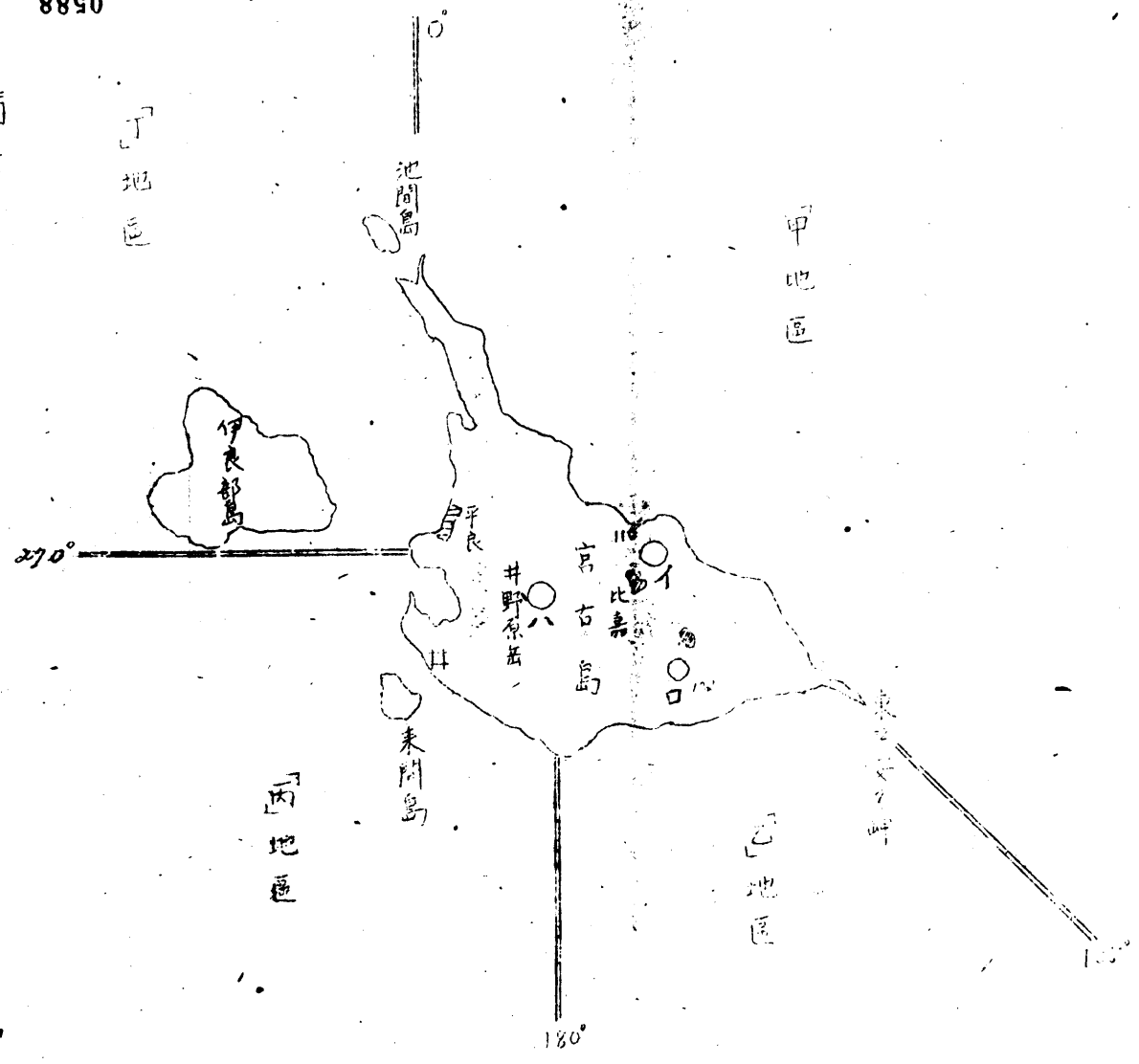


圖 網 信 通 報 情

別 紙 第 三

一 註

一、 第一 九空 航隊 司令部 及 各 隊 通 信 網 絡 概 況

二、 第二 七空 航隊 司令部 及 各 隊 通 信 網 絡 概 況

三、 第三 十空 航隊 司令部 及 各 隊 通 信 網 絡 概 況

四、 第四 一〇空 航隊 司令部 及 各 隊 通 信 網 絡 概 況

五、 第五 一〇空 航隊 司令部 及 各 隊 通 信 網 絡 概 況

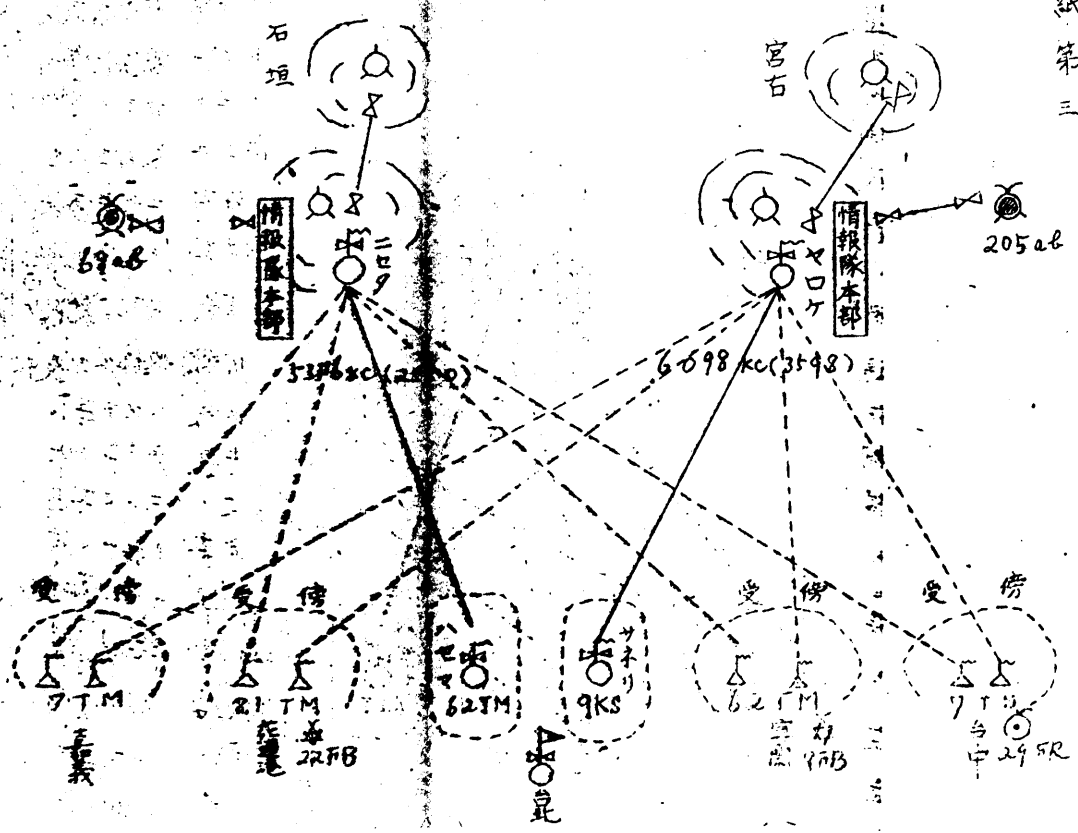
六、 第六 一〇空 航隊 司令部 及 各 隊 通 信 網 絡 概 況

七、 第七 一〇空 航隊 司令部 及 各 隊 通 信 網 絡 概 況

八、 第八 一〇空 航隊 司令部 及 各 隊 通 信 網 絡 概 況

九、 第九 一〇空 航隊 司令部 及 各 隊 通 信 網 絡 概 況

十、 第十 一〇空 航隊 司令部 及 各 隊 通 信 網 絡 概 況



誠作命乙第五十九號

誠部隊命令

六月二十日一五〇七

飛行第十戰隊ハ依然現任務ヲ續
 行スルト共ニ自今中南支沿岸ニ
 於ケル艦船狀況搜索ニ任シ特ニ溫
 州及福州ニ對スル敵ノ空海基地ノ
 推進企圖ノ看破ニ勉ムヘシ
 搜索ノ細部ニ關シテハ其ノ都度參
 謀長ヲシテ指示セシム

下達法
配布區分

鴻二
10FR
一

誠部隊長山本健兒
要旨電話後印刷交付

作
人
印
丙

臺飛作命丙第四百四十三號

第八飛行師團命令

三月二十五日一〇時
臺北

一 師團ハ先島群島ニ於ケル整備力ヲ強化セ
ントス

二 飛行第二十九戰隊長ハ誠第三十五飛行
隊整備班ヲ石垣島ニ派遣シ第九飛行
團長ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

三 第五野戰航空修理廠長ハ第四百十三獨
立整備隊及第四百五十一獨立整備隊ノ各

一部ヲ宮古島ニ派遣シ第九飛行團長ノ

指揮下ニ入ラシムヘシ

四 第九飛行團長ハ前ニ項兵カヲ指揮スヘシ

五 細部ニ關シテハ參謀長ヲシテ指示セシム

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨ヲ電話後印刷送付

配布區分 灣ニ 29FR 9FB 38aB 52aB 5FS 各一

臺飛作命丙第四百十三號ニ依リ參謀長指示

一 第五野戰航空修理廠長ノ宮古島ニ派遣スル兵力

ハ細部ハ左記ニ據ルモノトス

左記

第四百十三獨立整備隊 人員器材ハ臺飛作命

丙第四百號ニ基ク戰闘修理班丁程度トシ機

種ハ四式戰闘機トス

第四百五十一獨立整備隊 人員器材ハ臺飛師

編第三號ニ基ク誠飛行隊整備班ニ準ス

ルモノトシ機種ハ三式戰闘機トス

二各部隊ハ速カニ臺北ニ前進スルモノトシ臺北ヨリ先島群島迄ノ輸送ハ師團ニ於テ處理ス

昭和二十年三月二十五日

第八飛行師團參謀長岸本重一

臺北作命内第百四十六號

第八飛行師團命令

三月二十六日 品

第五野戰航空修理廠長ハ臺北飛行命令内第百四十六號

ニ基キ第一第九第十第十一戰術修理班ヲ展開ス

ト共ニ本廠於テ準備シテ以テ修理班(西式戰機)

第十五戰術修理班(呼稱ス)ヲ宜蘭ニ展開ス

在飛行師團司令部内ニ待機ス

第八飛行師團長 岸本健兒

下達 陸軍省 陸軍部 陸軍航空部 陸軍航空隊 陸軍航空隊司令部 陸軍航空隊司令部各

配布 陸軍省 陸軍部 陸軍航空部 陸軍航空隊 陸軍航空隊司令部 陸軍航空隊司令部各

陸軍省令 陸軍省令第四百七十七號

第八飛行師團命令

三月二十八日 北

一 臺灣ニ滞留シテ南ヲ軍總司令官及防衛總司令官
ヲ下飛行部隊(機)ヲ人員器材等ノ緊急空輸
ニ爲師團ノ使用ニ供セシムル

二 各航空地區隊長ハ其ノ地區内ニ在ル前項該當
機ヲ速カニ航空北飛行場ニ前進セシムル

三 第一項飛行部隊(機)ハ別ニ示スルニ基キ空輸ヲ實施スル
第八飛行師團長

下達法
配在区分
1041
382B
392B
322B
332B
各一
電報後印耐交付
本 健 兒

臺飛休命丙第四百十八號

第八飛行師團命令

三月二十八日一六〇北

- 一 師團八南西諸島へ空輸ヲ實施セントス
- 二 飛行第百八戰隊ハ爾今一部ヲ以テ本島南西諸島間ノ空輸ニ任スヘシ

三 輸送實施ニ關シテハ主任參謀ヲ以テ直接に臺ニ戰隊先任將校將校ニ連絡セシム

第八飛行師團長 山本健兒

下達法
配布區分

印刷交付
灣ニハFRB
各一

臺飛你命 西第百三十三號

第八飛行師團命令

四月三日 五時

飛行班長ハ別紙ニ基キ本三日夕以降官古島ニ
對スル緊急人員器材ノ空輸ニ任スヘシ

第八飛行師團長

山本健兒

下達法 要旨電話後印刷交付

配布區分 灣ニ飛行班ハ 38ab 9FB 25ab 各一

臺飛休命丙第百五十三號別紙

一 實施時機 期間

本三日夕以降夜間及薄暮黎明ヲ利用シ概ネ四月六日朝完了ヲ目途トシテ實施スルモノトス

二 輸送人員資材等ハ概ネ左ノ如ク飛機場ニ於ケル集積ハ司令部擔任トシ輸送ノ緩急順序ハ主任參謀指示ニ依ルモノトス

左記

第百五十一獨立整備隊人員六名 器材四五〇陸
飛行第二四戰隊 人員二名 器材 五〇陸

誠命丙第百五十一號
 四月十四日一二〇〇
 誠部隊命令
 飛行班長八本十四日又以隣石垣飛行場
 二集積スヘキ百座跳飛爆彈(信管共)約
 二十發、緊急空輸ニ任スヘシ
 誠部隊長 山本健兒
 下達法 口達後印尉交付
 配布區分 第一飛行班 各一

無線機整備員 人員五名
 通信器材 五八〇
 飛行機部品 二五〇
 飛行隊用糧秣 二五〇
 第一百十三獨立整備隊器材 五〇〇
 其ノ他 五〇
 合計 人員一〇四〇 器材二五八〇
 三六二〇
 三 歸航ニ當リテハ獨立飛行第四十中隊地上勤務員ヲ
 輸送スル他第二百五飛行場大隊長ト連絡シ所要
 人員等ノ輸送ニ任スルモノトス

誠命丙第百五十二號

誠部隊命令

四月十五日 北

飛行第百八戰隊ハ依然現任務ヲ續行スルト共ニ
一部ヲ以テ飛行第二十四戰隊及獨立飛行第四十二
第四十三中隊ノ支那殘置人員中部隊主力ニ追
及スヘキ人員ノ空輸ニ任スヘシ

細部ニ關シテハ主任參謀ヲシテ連絡セシム
誠部隊長 山本健兒

下達法 連絡將校ニ口達後印刷交付
配布區分 灣ニ
108R
51A
213
24R
27.8
43R
合

誠作命 丙第百六十三號

誠部隊命令

四月十六日 一〇〇〇北

- 一 師團八第五航空軍一部部隊ノ臺灣ヲ基
地トシテ行フ南西諸島敵飛行場制壓作
戰ノ為特殊彈藥ノ集積換ヲ實施セトス
- 二 第三十八第四十二及第五十三航空地區隊長ハ別
紙ニ示ス所ニ基キ航空特殊爆彈ヲ夫々桃園
花蓮港及嘉義ニ集積スヘシ
- 三 第五野戰航空補給廠長ハ前項集積ノ不
足爆彈ヲ各地區隊長ニ補給スヘシ

四 細部主任參謀ニシテ連絡セシム
誠部隊長 山本健兒

下達法 要旨電話後印刷送付

配布區分 灣ニ 37H 38aB 42aB 53aB 57A 57S 各一

誠部隊長參謀部ニシテ連絡セシム
誠部隊長 山本健兒

誠作命内隊百六十九號

誠部隊命令

五月八日一七〇北

- 一 誠作命甲第三百六十九號ニ據ルト號各飛行隊ハ上海附近
- ニ集結シ近ク第三飛行團長ノ指揮ヲ以テ臺灣ニ向
- ヒ出發ス

ニ久保田大尉ノ第三飛行團司令部ニ至リ該司令部ニ連絡

スルト共ニト號各飛行隊トノ連絡並ニ誘導ニ任スヘシ

飛行班ノ軍偵一機ヲ其ノ指揮下ニ入ラシム

三 飛行班長ハ軍偵一機(操縦及機上無線各一名)ヲ

久保田大尉行動間其ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

誠部隊長

山本健兒

下達法

久保田大尉 飛行班長 山口達

配布區分

久保田大尉 飛行班長 各一

578 上三飛行場長 各一

誠作命内第百七十一號(誠作命甲第百六號)

誠部隊命令

五月九日 北

第二十二飛行團長、誠第十五飛行隊ノ整備人

真澄村上等曹飛行第三戰隊發遣隊ノ半部ヲ嘉

美原隊ニ誠第二十五飛行隊ノ指揮下ニシテ

第一第三隊飛行隊ノ先頭隊ヲ編成シテ下士官以

下約十名ヲ嘉義ニ派遣シ誠第二十五飛行隊長ノ

指揮下ニシテ

第二野戰航空修理隊長ヲ嘉義ニ歸屬シ誠

飛行隊整備員ヲ嘉義ニシテ兵力ヲ大々誠第二十八第七

十一飛行隊長ノ指揮下ニ入ルシムルト共ニ有力ナル一
部ヲ以テ誠各飛行隊ノ整備ヲ援助スヘシ
四 誠第二十五第二十八第七十一飛行隊長各整備班
ヲ指揮スヘシ

指揮轉移ノ時機ハ誠飛行隊長所定飛行場
到着ノ時トス

誠部隊長 山本健兒

誠部隊命令 第七十五號

誠部隊命令

五月十三日二三四
北

一 部隊ハ作戰ノ進展ニ即應スル為各種飛行
機ノ航線距離ノ増加ヲ企圖ス

二 第五野戰航空修理廠長ハ別紙増裝實施要
領ニ基キ増裝作業ヲ實施スヘシ

三 作業實施ノ細部ニ關シテハ其ノ都度兵器部長ヲシテ連
絡セシム

誠部隊長 山本健兒

下達法 配布区分 印刷送附 灣各飛行部隊各一

誠作命丙第七十六號

誠部隊命令

五月十三日二四〇北

一 師團ハ各地ニ散在スル廢飛行機ヲ以テ彼此融通
 之ヲ復活シ縱深戰カヲ蓄積セントス
 二 第五野戰航空修理廠ハ主トシテ前項作業ノ直接
 實行ニ任シ各飛行部隊航空地區部隊ハ之カ援
 助促進ニ任スヘシ

三 細部ニ關シテハ參謀長ヲシテ指示セシム

誠部隊長 山本健兒

下達法

要旨ヲ電話(電報)後印刷送附
 配中區分 灣ニ修理廠飛行部隊地區隊 各一

誠依命丙第百七十六號ニ奉テ參謀長指示

一 整備實施上機種別緩急順序以テ之ヲ以テ之ヲ示記ニ據ルモノトス

左記

緩急順序 キ四三、キ六一、キ五一、キ五四、キ八四、練習機、キ四、キ六、キ二、キ七

完成目途

第一期 六月中旬

約十六機

第二期 七月中旬

約三十五機

第三期 九月下旬

約四十機

二 修復機ハ概テ同機種裝備、飛行部隊ニ補給セラル、管村ニ部隊、其

保有ノ部品等、品目員數ヲ師團ニ報告スルニテ、第三野戰航空修理廠

ニ供出シ之ヲ活用ヲ計ルモノトス

三 飛行部隊及航空地區部隊ハ亦、作業完遂ニ待テ、左記事項、副官

梢ニ至ル迄、之ヲ徹底實行スルモノトス

一 廢品機体トシテ各飛行場ニ散在セルモノ及破損機ニテ原形ヲ失セ
 ズ、他ハ悉皆之カ活用ヲ圖ルニ付部員等ヲ遣テ採取セザルモノ
 又破損機ヲ生シシ場合ハ敵ノ攻撃ニ依リテ各破損機ニテハ速ク
 ニ處置スルニ共ニ關係分廠ニ通報セシムル事
 自今破損機ハ偽飛行機トシテ一切使用セザルモノ
 又飛機体等、各地輸送等ニ關シ積極的ニ修理廠ニ協力の事ヲ支
 持シ野戰航空修理廠長各月中旬旬調ヲ以テ作業ノ進捗狀況ヲ報
 告スルモノトス

誠部隊參謀長

岸本重一

誠部隊命 丙第百七十七號

誠部隊命令

五月十三日五〇〇
臺北

一 部隊ハ更ニ主要飛行場ノ機能ヲ整備強化
 シ速クニ次期作戰爲基地準備ヲ充整
 セントス
 二 各航空地區隊長ハ別紙計畫畫ニ基キ育中
 旬ヲ自途トシ各々飛行場ヲ整備強化スヘシ
 三 細部ニ關シテハ主任參謀ヲシテ直接指示
 セシム

誠部隊長 山本健兒

下達法 印刷 交付
配布箇所 鷹 38aB 39aB 42aB 52aB 53aB 桃園 25 靴 25 各一

別紙

飛行場整備強化計畫

飛行場素質ヲ向上シ分散及秘匿施設ヲ更ニ徹底強化スルト
共ニ逐次掩護ヲ確實ナラシムル如ク
施設實施重點ヲ先ニ臺灣北部次テ中部並ニ東部ニ置キ本
作業概成ヲ六月中旬トス

要領

一 整備強化要領左ノ如ク
ノ滑走路

- (1) 重裝備ニテ操縦未熟ナル(2) 旋機ノ出發ニ支障ナカシムル如ク
滑走路面ノ轍痕彈痕水溜リ等ノ凹凸ヲ常時補修強化ス
- (3) 滑走路(特ニ鋪裝滑走路)兩側ヲ整地壓密シ最小限幅ニシテ
ヲ有效ニ使用シ得ル如クス
- (4) 滑走路ノ長さ六三三三三米ヲ有效ニ使用シ得ル如クス

- (一) 長距離障害物ヲ除去シ滑走路兩端約一〇米ヲ整地敷設ス
- (二) 滑走路近ク飛行機秘匿位置約十機分ヲ準備シ急遽ナル分散及出動ヲ容易ナラシム
- (三) 秘匿飛行場ノ滑走路、偽装ハ更ニ強化シ其ノ効果ヲ維持ス
- (四) 爾他飛行場ニ於テ滑走地區ヲ勉メテ偽装ス
- (五) 又滑走地區周邊ニ排水溝ハ之ヲ遮蔽ス
- (六) 高度分散秘匿施設
- (七) 密集セル秘匿位置ヲ周引キ分散疎開セシメ更ニ遠距離施設ヲ増加ス
- (八) 秘匿手段ハ樹枝ニ依リ遮蔽及森林ノ利用ヲミナス偽装家屋等ニ依リ手段ヲ併用ス
- (九) 分散位置ノ地形之ヲ許ス時ハ半地下式若クハ切リ込掩体ヲ設ク但シ之ヲ為特ニ分散秘匿ノ企圖ヲ暴露セサル如ク周到ナル注意ヲ下ニ作業ヲ實施ス

- (一) 森林中若クハ家屋利用、秘匿施設ハ企圖ヲ暴露セサル如ク周圍ニ掩体ヲ構築シ至近彈射ヲ彈攻撃ニ依リ損耗ヲ防ク如クス
- (二) 特ニ示ス飛行場ニ夕彈對抗ノ輕掩蓋ヲ有セル分散秘匿位置ヲ設備ス
- (三) 高度分散ノ為、誘導路特ニ飛行機引込地點ハ小徑等ニ偽装シ秘匿位置ヲ暴露セサル如クス
- (四) 分散秘匿位置ニ整備等ハ人員用貯壺ヲ一機ニ付テ準備スルト共ニ燃料板キノ為、下ニ油罐ノ掩蓋ヲ飛行機ヨリ五十米以上ノ距離ニ遮蔽シテ設備ス
- (五) 掩護施設
- (六) 飛行場周邊戰鬪指揮所、耐爆施設ヲ強化ストテ飛行場勤務員ノ收容ヲ可能ナラシムル如ク増加ス
- (七) 主要飛行場ノ現存未將掩体ヲ彈對抗ノ為入口ニ掩護施設ス

ヲ附與スト共ニ若干ノモノハ回収容可能ナル如ク改修ス後
 方ハ掩護遮蔽ヲ確實ニシムル如クス
 (ハ) 特ニ必要トスル飛行場ハ場内ニ中小型用特掩体ヲ新設ス
 構築要領前項ニ全シ
 補修資材ノ準備
 各飛行場共ニ余カノ存心限リ補修資材特ニ石材木材集積ニ勉
 整備強化ノ實施スルニ主要飛行場並ニ施設強化ノ概要及施設擔任附
 表第一及附圖ノ如シ
 經理部長ハ本施設ニ必要ナル資材ヲ取得シ交付スルニ
 案ニ項以外飛行場ニ在リテモ作業力ノ許ス限リ第一項ノ趣旨ニ副ヒ
 逐次増強ヲ計ルモトス
 四 本施設増強作業ハ主トシテ航空地區諸部隊(飛行場設定隊、飛行
 場大中隊、特設警備工兵隊、各勤務隊等)ヲ充テ所要ニ應ジ爾レ
 作業力ヲ増加スルモトシ作業ハ敵彈下主義ニテ行フモトス

附表第一

飛行場並ニ施設強化ノ概要及施設擔任表

備考	備
	一ノ二ノイロハ... 等ハ飛行場整備強化計畫中ニテ 整備強化要領ノ作業ノ種類ヲ示ス 一〇印ハ實施スヘキ作業トス

考	備	42aB		草	臺	臺	湖	龍	桃	宜	宜	宜	樹	臺	臺	地 區	擔 任					
		臺	池	上	上	花	花	草	臺	湖	龍	桃	宜	宜	宜			樹	臺	臺		
		東	上	南	北	南	北	北	東	中	口	潭	魂	園	西	南	北	口	南	北	飛 行 場 名	區 分
		○				○	○	○	○													
						○	○	○	○												イ	ハ
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	イ	ハ
		○	○	○	○																イ	ハ
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	イ	ハ
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	イ	ハ
						○	○														イ	ハ
																					イ	ハ

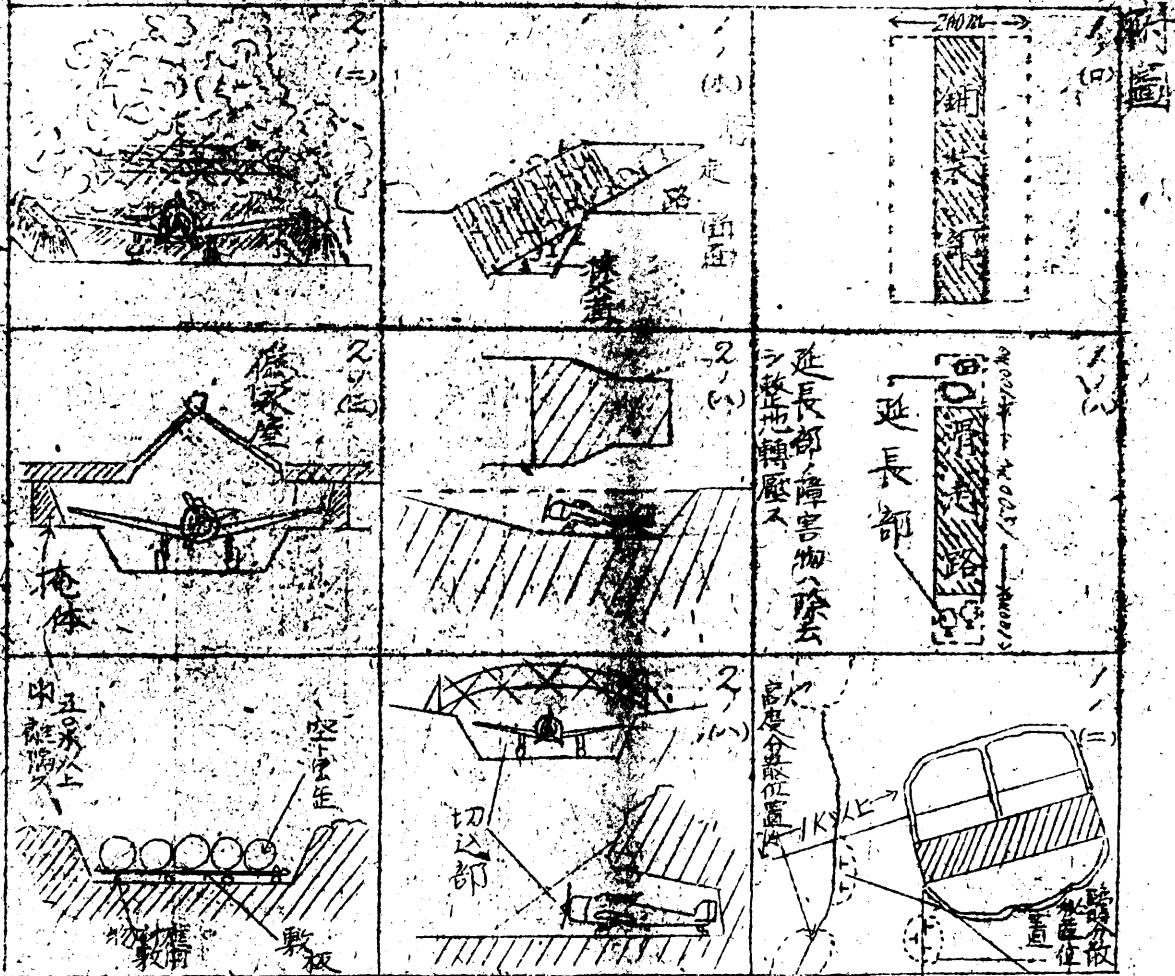
一ノ三イハ...等ハ飛行場整備強化計畫中ニテ
 整備強化要領ノ作業ノ種類ヲ示ス
 二〇印ハ實施スルキ作業トス

附表第一

飛行場並ニ施設強化ノ概要及施設擔任表

8290
 本表ハ飛行場並ニ施設強化ノ概要及施設擔任表ニシテ
 各飛行場ノ整備強化ノ要領ノ作業ノ種類ヲ示ス
 一ノ三イハ...等ハ飛行場整備強化計畫中ニテ
 整備強化要領ノ作業ノ種類ヲ示ス
 二〇印ハ實施スルキ作業トス

0624



誠作命丙第百七十九號(誠作命甲第百三十一號)

誠部隊命令

五月十六日 〇八〇〇

一 第三練成飛行隊長、誠作命甲第百三十一號ニ據ル飛行隊
二十九戰隊特別攻撃隊誘導機ヲ左記ノ如ク臺中ニ派遣シ飛
行隊二十九戰隊長ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

左記

一 五月十七日 拂曉迄

ニ式複戦

ニ機

二 五月十八日

夕迄

ニ式複戦

ニ機

内一機ハ豫備機トシ誠作命丙第百七十五號ニ其
ク裝備ヲ完了シ誘導及戰果報告後歸還スルニ

二 飛行第十戰隊長ハ第一項第一號誘導機ノ為偵察將校トシ

三 飛行第八戰隊長、第一項第二號誘導機、爲偵察將
校、若ハ航法下士官一名ヲ五月十六日夕迄ニ桃園ニ於テ第三
練成飛行隊長ヲ指揮下ニ入ラシムヘシ
飛行第二十九戰隊長ハ前ニ項ニ據ル誘導機ヲ指揮シ特別
攻撃隊ノ誘導、戰果報告ニ任セシムヘシ

誠部隊長

山本健兒

下達法

要旨電報(電誌後印刷送付)

配布區分

10FR 29FR 108FR 3FR 各一

誠部隊命令

五月十九日 〇八三

第三練成飛行隊長ハ誠部隊内第七十九號ニ據ル飛
行第二十九戰隊長特別攻撃隊誘導機全機ニ誠部隊内第
三項ニ據ル誘導機ヲ指揮シ特別攻撃隊ノ誘導、戰果
報告ニ任セシムヘシ
如ク編成ス

誠部隊長

山本健兒

下達法 電報(電誌後印刷送付)
配布區分 10FR 29FR 108FR 3FR 各一

誠命内第百八十一號

誠部隊命令

五月二十三日 北

部隊内臺間ノ空輸ヲ更ニ強化促進シ
島内航空戦力ヲ培養セントス
司令部隊飛行班長ハ自今主力ヲ以テ右空輸
ヲ擔任スヘシ

空輸實施ノ細部ニ關シテ參謀長ヲシテ指示セシム

誠部隊長 山本健兒

達法 印刷交付

口ニハ 飛班東京(新田)誠連務所長
大邱 誠連務所長

誠作命丙第百八十一號ニ基ク參謀長指示

一本島ニ對スル比島敵基地航空・連爆下大規模ノ損害防止ヲ為臺灣待機期間ヲ短少ナラシム如ク内地飛行場ヲ整備基地トシテ運行スルモノトス

内地整備基地ハ主トシテ大邱狀況ニ依リ菊池飛行場ト空輸器材ノ搭載基準ヲ左ノ如ク定ム

兵器器材部品

ス

經理衛生用現地自治資材ノ

主任參謀ハ長期輸送計畫ヲ立案シ臺灣到着後

誠部隊命第百八十二號
 五月二十三日一五三〇
 誠部隊命令
 一 部隊ハ「四四」キ〇ニ、作戰準備ヲ促進セントス
 二 飛行第二十九戰隊長ハ「四四」保管全機ヲ第一
 八教育飛行隊ニ移管スル共ニ當分ノ間所要ノ人
 員ヲシテ被移管部隊ノ訓練並ニ整備教育ニ
 協力セシムヘシ
 三 第八教育飛行隊長ハ飛行第二十九戰隊保管ノ
 「キ四四」受領後速カニ整備並ニ訓練ヲ開始次期

其ノ節度飛行班長ニ往(歸)航間ノ任務ヲ指示シ空輸ヲ
 實施セラルトス
 四 飛行班長ハ内地帯在間空襲被害防止及整備強化ヲ
 重爆一機分ノ協力人員ヲ派遣スルコトヲ得
 本空輸間使用機種機數ハ左ノ如ク定ムルモ戰況ニ依
 リ変更スルコトヲ得
 一機
 一機
 二機
 誠部隊參謀長 山本重一

作戰準備ヲ完整スヘシ
四第三錬成飛行隊長ハ「キ」ニテ以テスル艦船砲(爆)撃
及特攻隊ノ誘導ニ任シ得ル如ク六月末ヲ目途ニ訓練ス
ニ第五野戦航空修理廠長ハ第三四項部隊ノ整備並裝
備強化ニ協カスヘシ

六細部ニ關シテハ參謀長ヲシテ指示セシム
誠部隊長 山本健兒

下達法
配布區分

要旨電報後印刷配布
29FR
3FRK
3FRJ
3FJc
各一

誠作命内第百八十二號ニ基ク參謀長指示
一三四整備及裝備完成目途ハ概不左記ニ據ルモノトス

完成目途

五月末

概不四機

六月末

八機

②整備基準

機體下底

武裝修理機全數

一(胴体下底)

一三四飛行隊訓練及整備教育ハ左記ニ據ルモノトス

末修教育

六月下旬概成

教官飛行第二九戰隊リ

一名差出

一名差出

③統制訓練

六月末日迄概成

特海上航法

各人一回

各人一回

整備教育育未完成

飛行第二九戰隊ヲ教官一助教二

外要整備員ヲ派遣スモノトス